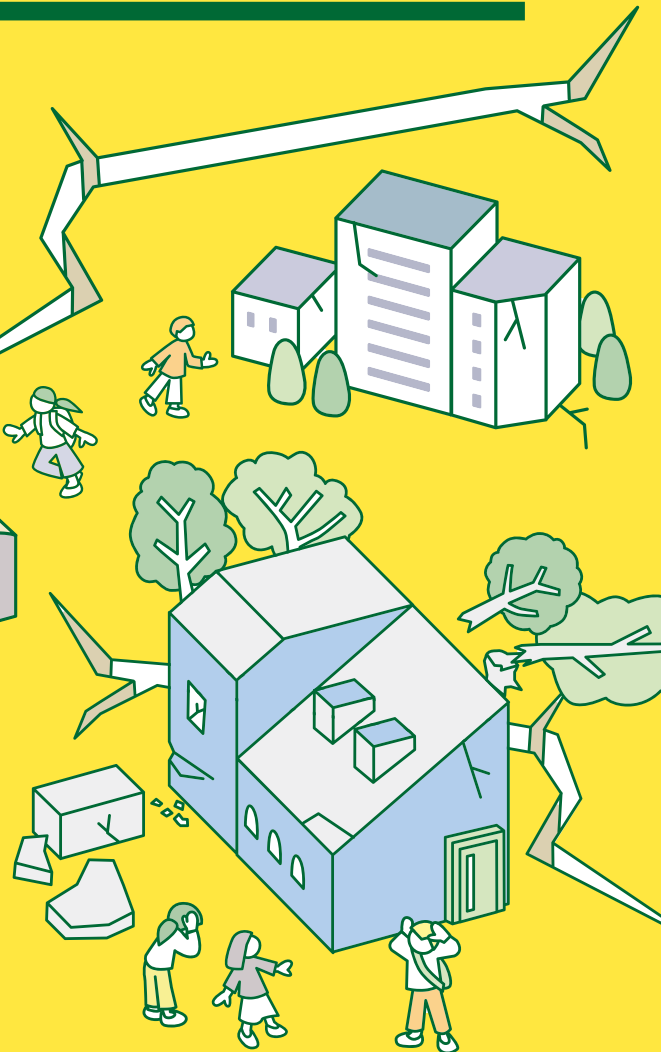


迫りくる 大災害から 命を守る

第1回

南海トラフ巨大地震への 備えと実践

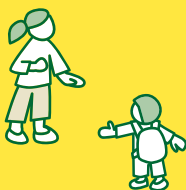
定員60名(事前予約制)



近い将来に必ず起きると言われる南海トラフ巨大地震。

政府の地震調査委員会の地震予測では、マグニチュード8~9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は70~80%とされており、年々その確率が上昇しています。

甚大な被害が想定されるこの大災害に対し、自分や身近な人の命を守るために私たちが備えるべきこと、また防災・減災のために実践すべきことについて、大阪北部地震発生から5年が経過するいま、官学の専門的知見に学び、ともに考えます。



2023(令和5)年

6/19 [月]

16:30-18:00

受講無料

講師

関西大学 社会安全学部
教授 奥村 与志弘 氏

【プロフィール】1980年生まれ。博士(情報学)。専門は総合防災・減災。2008年3月京都大学大学院情報学研究所博士後期課程修了後、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター主任研究員、京都大学大学院地球環境学助教を経て、2017年4月より関西大学社会安全学部准教授、2022年4月より現職。東日本大震災では、宮城県庁に常駐し、政府現地災害対策本部、宮城県災害対策本部などに対する支援を実施。中央防災会議「防災対策実行委員会」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」委員など。



情報提供:大阪市 危機管理室

主催:大阪府内地域連携プラットフォーム
(大阪府・大阪市・大阪商工会議所・大学コンソーシアム大阪)



迫りくる大災害から命を守る 南海トラフ巨大地震への備えと実践

講演概要

最大で死者32万3千人という未曾有の被害が想定されている南海トラフ巨大地震。平成26年3月に、政府は今後10年でこれを8割減少させるという減災目標を掲げ、防災対策を推進してきました。今年度末にその10年の節目が迫っています。この間、どこまで対策は進み、何ができていないのか、また、今後、取り組むべき対策は何か？研究と実践に基づく最新の話題を紹介します。

プログラム(予定)

所要時間	内 容
開会10分前より	ZOOM開場
16:30 - 16:35	開会挨拶・趣旨説明
16:35 - 17:35	講演(60分)
17:35 - 17:55	情報提供(20分) 大阪市危機管理室
17:55 - 18:00	閉会挨拶・事務連絡

対 象

本テーマや産官学連携の取組に興味・関心のある地域住民をはじめ、自治体・産業界の担当者、大学教職員や学生など、どなたでもご参加いただけます。

申込方法

下記のGoogleフォームよりお申込みください

<https://forms.gle/Xy6km5KZr7eKQZyL8>



申込締切

6月15日(木) 17:00まで



問い合わせ先

特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪 事務局

(兼 大阪府内地域連携プラットフォーム事務局)

[TEL] 06-6344-9560

[MAIL] osaka-pf★conso-osaka.jp ★を@に変えてください

